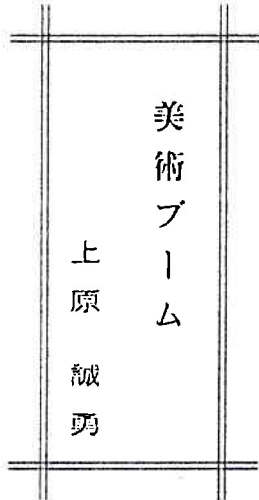


ロサンゼルス(OXホテルを  
 ウン百億円で購入したのも日本  
 人、竹やぶにウン億円を捨てる  
 のも日本人。ハワイや香港のホ  
 テルを買うのは朝メシ前で、ニ  
 ュースにもならない。今、ど  
 かく日本人は  
 お金持ちであ  
 る。

東京の画廊  
 仲間のM氏か  
 ら聞いた話で  
 はあるが、最  
 近のロンド  
 ン、パリ、そ  
 してN・Yの美術オークション  
 ハウスは、約半数が日本人だと  
 いう。四、五年前までは「人ほ  
 どの常連のディーラーであった  
 が、ここ数年、急激に増え続け、  
 その約半数の五十人から六十人

# 唐獅子



## 美術ブーム

上原 誠 勇

が日本人ディーラーだとい  
 う。十数年も前から欧米のオー  
 ションハウスに入り込んでいる  
 M氏は「日本人どうし競り合う  
 コレが多くなって、仕事がやり  
 づらいよ」とごぼしている。

数年前、日本の某保険会社が、  
 ロンドンのオークションで、ゴ  
 ッホの「ひまわり」を五十七億  
 円で落札したニュースはまだ耳  
 に新しい。  
 その時、落札予想価格は十六

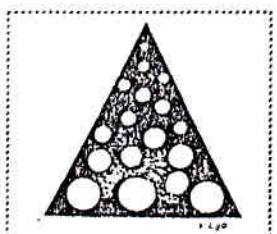
億円前後と言われてたが、その三  
 倍も上回る金額の落札に、世界  
 中のひんしゅくともつかぬ注目  
 を浴びた。その後、ウン十億円  
 のピカソ、ウン十億円のモジリ  
 アーニ等、日本人の金にものを

言わせる美術品購入の話題は後  
 を絶たない。  
 財テクか、マネーゲームか、  
 金あまりの現象か、日本人の美  
 術品購買欲はオンシク伸びて  
 いる。まさに今、日本は第二次

## 美術ブームである。

ある美術関係誌のデータによ  
 ると、一昨年の東京税関を通  
 た輸入美術品の額は六百億円、  
 昨年は二千五百億円、今年は上  
 半期で二千億円を厚く突破して  
 いる。そして

も天文学的数字ではないか。翻  
 ってわが沖和島のマーケットは  
 となると、何とも言葉が出ない。  
 沖和は美術ブームではなく画廊  
 ブームである。  
 (画廊沖和代表者)



喜代 砂川・カット

さらに国内作  
 家の作品流通  
 を加えると、  
 世界有数のウ  
 ン兆円美術マ  
 ーケットが成  
 立しているの  
 である。何と